

平成30年6月5日

## 平成29年度強い農業づくり交付金の事業評価について

強い農業づくり交付金で平成26年度に実施した整備事業の評価結果について、強い農業づくり交付金実施要綱（平成17年4月1日付け16生産第8260号農林水産事務次官依命通知）第8の規定により公表します。

問い合わせ先

園芸農産課野菜・果樹グループ

電話 052-954-6418

## 整備事業評価書

(都道府県名:愛知県)

政策目的	事業実施地区数 ア	評価対象外地区数 イ	評価対象地区数 ア-イ	成果目標の平均達成率	評価対象地区数のうち、都道府県が事業実施主体へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
産地競争力の強化	6	0	6	86.9	4	有	成果目標を達成した事業もあったが、一部事業は目標に届かなかった。目標達成に向けて、今後、県を始めとし関係機関による支援・指導を行う。	6地区の評価対象のうち4地区6項目の成果目標が未達成となった。国から県への改善指導が必要と判断し、未達成となった各地区の要因分析を行い、事業実施主体による改善計画策定段階から、県の指導及び助言を行う必要がある。

整備事業  
I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(愛知県 平成28年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①							成果目標の具体的な実績① (対象作物・畜種等名)②	メニュー②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②							成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規模等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時(平成24年)	1年後(平成26年)	2年後(平成27年)	3年後(平成28年)	目標値(平成28年)	達成率	計画時(平成24年)				1年後(平成26年)	2年後(平成27年)	3年後(平成28年)	目標値(平成28年)	達成率	交付金	都道府県費				市町村費	その他						
				12.3%	7.7%	12.6%	23.0%	24.5%	87.7%	5,480千円/10a				4,912千円/10a	5,885千円/10a	6,114千円/10a	6,305千円/10a	76.8%	1,402,920,000	643,215,000					64,321,500	695,383,500					
豊橋市	豊橋農業協同組合	野菜(トマト)	(秀品その他品質の向上)規格品の割合増加 養液栽培の増加と環境制御技術の普及、習熟により、生産性ならびに上位規格品の割合の12.2ポイント以上増加。	上位規格割合 12.3%	7.7%	12.6%	23.0%	24.5%		87.7%	計画時より10.7ポイントの増加	野菜(トマト)	(単位面積あたり販売額の増加)養液栽培の増加と環境制御技術の普及、習熟により、単位面積あたりの生産性(収量)を825千円/10a以上増加。	単位面積あたり販売額 5,480千円/10a	4,912千円/10a	5,885千円/10a	6,114千円/10a	6,305千円/10a	76.8%	計画時より634千円/10aの増加	集出荷貯蔵施設 鉄骨造二階建 9,403.9㎡  選果設備一式 形状/色彩/糖度選別 フルトレ-6条  消費税	1,402,920,000	643,215,000		64,321,500	695,383,500	平成27年3月25日	一部生産者は規模拡大及び新技術の積極導入等、生産基盤の拡大を図ってきたが、それ以上に高齢化に伴う生産者数の減少が大きく、栽培面積が50.7haと減少し、平成28年9月の天候不順により着果数が少なくなったため、全体の出荷量は7,841.7tで計画時より少なかった。 成果目標の上位規格品の割合については、①糖度センサーの導入により高糖度ブランド「希」を作り、新たな上位規格品として出荷したこと、②形状識別機器の能力向上により選別の精度が上昇したこと、③新たに2S規格を設定し機械選果することから、10.7ポイント増加したものの、目標の24.5%を達成できなかった。その要因として、栽培面積の減少と天候不順による出荷量減少の他、高糖度品の栽培の誘導により、2S以下の小玉果の発生が多くなったため機械選果できなかったことが考えられる。今後は着果制限を行う等M級生産を部会全体で取り組み、需要に見合った栽培指導を行っていくとともに、意欲ある生産者に対して更なる規模拡大や新技術導入を促し、栽培面積の減少による数量の減少をカバーする。 単位面積あたりの販売額については、①養液栽培面積の増加や環境システムの導入による単収の増加、②上位規格品の割合増加に伴い販売額が増加したため、当初計画より634千円増加したが、養液栽培面積や環境システム導入面積が不十分で、かつ上位規格品の割合もまだ低いため、達成率が76.9%に留まった。今後は、産地パワーアップ事業等を活用して新技術の導入を促進し、部会内の養液栽培及び環境制御の普及割合を高めていくことで単位面積当たりの増収を図り、高品質栽培を引き続き推奨して、単位面積当たりの販売額増加に努める。	事業実施主体は目標達成に向けて、前向きに取り組んでおり、上位規格品の割合と単位面積あたりの販売金額が着実に向上している。上位規格品の割合の増加については、着果制限を行う等M級生産を部会全体で取り組み、需要に見合った栽培指導を行い、機械選果できる出荷物を増やす。また単位面積あたりの販売額の増加については、事業等を活用して新技術の導入を促進し、部会内の養液栽培及び環境制御の普及割合を高めていくことで単位面積当たりの増収を図り、高品質栽培を引き続き推奨していく。		
春日井市	尾張中央農業協同組合	土地利用型作物(稲)	米1等比率の向上	58.6%	100%	100%	100%	88.6%		138.0%	一等米比率41.4%向上 259t/259t (1等米数量/乾燥調整数量)	土地利用型作物(稲)	直接販売比率の増加	0%	11.3%	25.3%	28.7%	25.6%		112.1%	(米)直接販売比率28.7%増加 74.5t/259t (直接販売数量/出荷数量)	24,840,000	11,500,000	0	0	13,340,000	平成26年9月18日	色彩選別機を導入したことにより、出荷米の等級がすべて1等となった。また、米の店頭販売キャンペーンや予約注文の取組を実施したことで、直接販売比率は28.7%まで向上した。これらは、事業目的である産地競争力の強化につながるものである。	成果目標として掲げた2つの取り組みともに目標を達成していることから、今回の事業による産地管理施設(色彩選別機)の導入は、当該地域の産地競争力の強化に大きく資するものであったと評価する。		
愛知県(施行場所:安城市)	愛知県経済農業協同組合連合会	野菜(いちご)	単位面積あたりの労働時間の削減	187.0%							187.0%	野菜(いちご)	全出荷量に占める契約取引の割合の増加	全出荷量に占める契約取引の割合 48.5%	59.5%	71.9%	81.2%	76.7%	116.0%	全出荷量に占める契約取引の割合 81.2%	(28.2ポイントの増加)	222,210,000	75,064,000	0	0	147,146,000	平成27年2月6日	【単位面積あたりの労働時間】利用者数・利用数量の増加により、計画以上の労力削減。余力を栽培管理に充てることで、収量UPに寄与。 【契約取引の割合】顧客ニーズに沿った商品製造や冷蔵保管による安定供給により、計画以上の取引実施。	いちごの出荷調整作業をバックセンター(以下、「PC」とする。)で行ったことで、農家の栽培管理・収穫作業に充てる時間が増えたと考えられ、収穫ロスが低減し、平成28年は目標としていた単収5,094kg/10aを上回る5,527kg/10aとなった。規模拡大をした農家もあった。総じてPC利用実績が277.3tと目標を上回り、PC受託面積も多くなったため、労働時間の削減の成果目標を達成することができた。また、ニーズに沿った商品製造や冷蔵保管による安定供給により、平成28年の契約取引実績は225.2tで、契約取引の割合は81.2%となり、成果目標を達成した。PCの整備により当該地域の産地競争力が強化されたと評価する。		

